

科目番号	BB211			
科目名	森林保護学 実習			
担当教員	岩成 麻子（森林大学校専任教員）			
科目区分	森林生態学	人材養成の方針	即戦力	リーダー
対象学年	2年	授業形態	実習	
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
授業時間数	15	コマ	（ 30 単位時間 ）	
実務経験のある教員による授業科目	○	左の実務経験の内容	森林病虫害等防除業務	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無		左の実務経験の内容		
実務経験を活かした授業内容	森林病虫害防除の実務経験をもとに、実際に発生した被害や対策を現場で確認しながら、講ずべき被害対策について学ぶ。			

目的	森林保護学（講義・演習）で学習した森林被害のうち、兵庫県内で特徴的な森林被害についての現状や対策、課題について理解を深める。
概要	講義と被害対策現地の見学により、被害の現状や被害防除対策について理解を深める
キーワード	①森林被害地見学（マツ枯れ、ナラ枯れ、獣害、風雪害など）②森林病虫害の被害と対策 ③ニホンジカの被害と柵の設置効果 ④マツノマダラカミキリ防除戦略 ⑤気象災害からの復旧
関連する科目	森林保護学、樹木医学
到達目標	○ 森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得
	○ 森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得
	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得
評価方法	レポート60%、出席20%、態度20%

授業計画	テーマ	講義内容
1～4	カシノナガキクイムシの被害と被害対策	(1)カシノナガキクイムシの被害と対策 (2)カシノナガトラップ組立設置実習 (3)カシノナガキクイムシ被害判別 (4)カシノナガキクイムシ防除現場見学 (5)カシノナガキクイムシ被害防除の課題と対策を現地検討(レポート)
5～8	ニホンジカによる被害と対策	(1)ニホンジカによる被害と対策 (2)ニホンジカ対策用柵の効果的設置法 (3)ニホンジカ対策柵の成功要因と失敗要因(レポート) (4)現地の柵において成功要因と失敗要因を検討(レポート)
9～12	スギ・ヒノキ・マツに係る虫害及の状況及び被害対策	(1)マツノマダラカミキリとスギ・ヒノキの穿孔性害虫 (2)マツノマダラカミキリの防除戦略(レポート) (3)特別防除実施地の視察 (4)特別防除実施地と未実施値を比較し、防除効果を学ぶ (5)簡易マツノマダラカミキリ抽出実験
13～15	気象災害	(1)気象による森林被害と対策 (2)気象による森林被害現場見学と復旧事業

テキスト	資料を配付
参考書	1.森林保護学(朝倉書店)、2.森林保護学(文永堂)
関連する資格	森林情報士2級、樹木医補

備考	
----	--